



大阪市立 春日出小学校



所在地 〒554-0022 大阪市此花区春日出中 1-13-23

電話番号 06-6461-2606



校長名 杉本 善幸

春日出小学校

検索

学校概要

春日出小学校は、創立64年目を迎え、学校教育目標を「人間尊重の精神と態度を養い、実践力のある心豊かな子どもを育てる」として、校訓である「つながり、もちまえ、よろこび」を実感できる教育活動に励んでいます。

今年度も「学力向上」と「生活指導」を両輪にして、実践力と豊かな心の育成に努めています。学力向上面では、校内の研究教科を国語科に設定し、対話を通した協働的な学びを実践し、学び合い、高め合う集団の育成を目指して取り組んでいます。

生活指導面では、「相手が嫌だと感じることはしない」、「その日のモヤモヤはその日のうちに解決できるようにする」を合言葉に、教職員一同で力を合わせて取り組んでいます。令和6年度当初の不登校児童割合は1%未満となっており、安全安心な学校実現へ向けて継続的に取り組んでいます。

標準服



運営に関する計画 中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の校内調査において、いじめの解消率を100%にする。
- 令和7年度末の学校評価アンケートにおいて「学校は、PTA・地域・区役所・消防等と連携して防災・減災教育に取り組んでいる」の肯定的回答の割合を80%以上にする。
- 令和7年度末の児童アンケートにおいて「自分はだれかの役に立っていると思う」の肯定的割合を80%以上にする。
- 令和7年度末校内調査において、特別な支援を要する児童の個別の支援・指導計画の作成率を100%にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の児童アンケートにおいて「友だちと話し合いながら学習することは楽しい」の肯定的回答の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学力経年調査における国語・算数の正答率で、各学年が大阪市平均に並ぶ。また、令和7年度全国学力・学習状況調査において、令和3年度より各教科とも4ポイント向上させる。
- 令和7年度の全国体力・運動習慣調査において、「体力合計点」について令和3年度より4ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の児童アンケートにおいて「ICT機器を使った授業はわかりやすい」の肯定的回答を90%以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる、教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を令和7年度末に80%以上にする。
- 令和7年度学校評価アンケートにおいて「学校は区役所、連合振興町会、地域活動協議会、PTA等と連携して教育活動を行っている」の肯定的回答を80%以上にする。

全国学力・学習状況調査

※令和5年度の平均正答率

国語	算数
62	54

※調査結果の正答率数値は、学力を測る一つの物差しではありますが、単年度結果であるこの数字をもって、現在の本校総体としての「学力」を示すものではありませんのでご注意ください。

【結果の概要及び成果と課題】

令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果は、国語科においては、大阪府平均と比べて-4ポイント、全国平均と比べて-5.2ポイントとなっている。問題形式が選択式の問題では正答率は70%を上回っており、情報の扱い方に関する事項では大阪府平均を1.5%、全国平均を0.7%上回る結果となった。算数科においては、大阪府平均と比べて-8ポイント、全国平均と比べて-8.5ポイントとなっている。問題形式が短答式の問題では正答率が68%を上回っているが、図形の分野において課題が見られる。

【国語】研究教科を国語科に設定し、「相手に伝わるように自分の思いを話す子どもを育てる」を研究主題として、教員の指導力向上を図るために授業研究や校内研修に取り組んでいる。その結果、令和5年度の結果では全国平均を下回っているものの、大阪市学力経年調査の結果を見ると、国語力の向上が確認できる。また、委員会活動やたてわり班活動等、学校生活の様々な場面で高学年の児童が活躍している姿から、「相手に伝わるように自分の思いを話す」力の向上が見られる。

【算数】問題発見・解決の学習を積極的に設定し、各場面で言語活動を充実させ、互いに学び合う授業展開を行っている。日々の授業で算数科の学力向上を図ったり、朝の学習で算数科の基礎基本問題に取り組んだり、放課後チャレンジルームを開設して算数科の問題に取り組んだりして、算数科の学力向上に取り組んでいる。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

※令和5年度の調査結果

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
男子	15.20kg	17.73回	29.67cm	37.13回	39.04回	9.63秒	152.20cm	18.80m
女子	15.29kg	21.74回	33.54cm	38.46回	35.08回	10.02秒	149.06cm	11.40m

【結果の概要及び成果と課題】

男子では、立ち幅跳びの結果が全国平均を1.07ポイント、大阪市平均を4.28ポイント上回った。女子では、上体起こしの結果が全国平均を3.65ポイント、大阪市平均を3.89ポイント上回った。また、立ち幅跳びの結果は全国平均を5.31ポイント、大阪市平均を9.4ポイント上回った。「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答においては、男子の肯定的回答が全国平均と大阪市平均をそれぞれ6.2%、5.9%下回っているが、女子の肯定的回答はそれぞれ10.3%、12.5%上回っている。また、一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は全国平均と大阪市平均を約10%上回ったが、女子は全国平均と大阪市平均を約2%下回るという結果であった。男女ともに「跳ぶ力」は向上しているが、「持久力」「巧緻性」「投げる力」に課題がある。

今年度も、運動委員会を中心に児童の体力づくりに取り組んでいる。体育の学習だけではなく、休み時間や放課後にも児童が体を動かそうと思えるように、「春日出 SASUKE」や「春日出みんな遊び」を運動委員会が考えて実施している。「春日出 SASUKE」では、遊具を使った運動をレベル別に考え、それぞれの遊具にポスターを掲示し、児童がポスターを見ながら運動ができるようにしている。「春日出みんな遊び」では、運動量が増える遊びとして「ふえ鬼」を選び、休み時間に2学年ずつ実施している。また運動場に、縄跳び台の当て、一輪車を設置することで、運動場に出て遊ぶ児童が増えてきている。さらに、体育の備品を新しく買い替えたり、追加したりして、運動できる環境を整えている。12月と1月の15分休みには、なわとび週間を実施し、12月には個人技に、1月にはリズムなわとびに取り組み、持久力向上を図っている。

学校教育目標

人間尊重の精神と態度を養い、実践力のある
心豊かな子どもを育てる

子どもが安心して成長できる学校運営をします

いじめの早期発見・解消や未然防止に取り組み、
人権に対する正しい認識と実行力を育てます。

- 学期に1回のいじめ未然防止アンケートによる調査と組織的対応
- 学期に1回「いじめについて考える日」を設定し、学校全体で児童の継続指導を進める

インクルーシブ教育を推進し、子ども一人ひとりの
ニーズに合った合理的配慮の提供を実施します。

- 体験的な活動を活かした学習
- 個別支援の充実
- 指導力向上に向けた教員研修の推進

道徳教育を推進し、
相手を思いやる気持ちを育みます。

- 主体的・対話的で深い学びの実践
- たてわり班活動による異学年児童との交流を推進

地域と連携して防災・減災教育に取り組み、
生命を大切にする態度や技術を育成します。

- 防災チェックシートや防災マップの活用
- 警察と連携した防犯教室、交通安全教育の実施
- 家庭と連携した防災訓練、引き渡し訓練の実施

豊かなつながりのある
「教育コミュニティ」づくりを推進します。

- 子ども見守り活動を中心とした取り組み
- 学校だよりやホームページによる地域への情報発信と学校公開

心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上を図ります

- 研究主題「相手に伝えるように、自分の思いを話す子どもを育てる」に向けた授業実践を推進し、自ら考えとともに友だちとの意見交流の中からよさを見つけ、表現する力を育成します。

- 効果的なICT機器の活用を図ります。
- デジタル教科書、タブレットPCを活用して、「わかる」「話し合える」授業を展開します。

- 専科指導や朝の学習、英語タイム等を活用して、基礎・基本の学力の定着に取り組みます。
- 体力づくり週間を設定し、体力向上に取り組みます。

- 教員研修を充実させ、子ども一人ひとりの課題に応じた支援の工夫やスモールステップなどの指導法を工夫していきます。